
4 0 7 2. 輸入C F S引取確認情報通知

業務コード	業務名
R C T 0 1	輸入C F S引取確認情報通知

1. 業務概要

C F Sから輸入貨物の引取りに先立ち、引渡し側から引取り側へ引取り予定を確認した旨を通知する。
また、既に本業務により登録済の輸入C F S引取確認情報に対し、訂正を行う。

2. 入力者

保税蔵置場、船会社、船舶代理店、C Y、N V O C C

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

システムに登録されている利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 貨物情報DBチェック

入力されたB／L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、以下のチェックを行う。

①輸入貨物または仮陸揚貨物であること。

②入力されたB／L番号が仕分親の場合は、「貨物情報仕分け（C H J）」業務により登録された情報仕分親であること。

(4) 貨物引取DBチェック

入力されたB／L番号、I D通知枝番が貨物引取DBに存在すること。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「000000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「000000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(2) 貨物情報DB処理

入力されたB／L番号に対する貨物情報DBが存在する場合は、本業務が行われた旨を登録する。

(3) 貨物引取DB処理

(A) 新規登録の場合

入力されたB／L番号とI D通知枝番に対する貨物引取DBに、入力された輸入C F S引取確認情報を登録する。

(B) 訂正の場合

入力されたB／L番号とI D通知枝番に対する貨物引取DBを入力された内容で更新する。

(4) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸入C F S引取予定確認情報	新規登録時で通知先コードに入力がある場合	入力された通知先
	新規登録時	「輸入C F S引取予定情報通知（R C S O 1）」業務の入力者
輸入C F S引取予定確認訂正情報	訂正時で通知先コードに入力がある場合	入力された通知先
	訂正時	「輸入C F S引取予定情報通知（R C S O 1）」業務の入力者